

競技関係者のための ソーシャルメディア 勉強会

Geekなページ
あきみち

3

今日のルール

- 中断歓迎
 - ・疑問に感じたら、割り込んで下さい
 - ・最後に質疑応答という形にすると理解が深まりません
 - ・脱線することで理解が深まるのが大事です
 - ウチの場合は。。。という話も歓迎します
- 飲食可
 - ・夕飯の時間です。ご自由にどうぞ。
- 時間が足りなくなったら
 - ・次回行いましょう
 - ・そこまで盛り上がれば成功です

2

本日の内容

- ・ 自己紹介
- ・ 全剣連での活動
- ・ 全剣連でのソーシャルサービス活用大枠
- ・ ノウハウ系の話題
 - ソーシャルメディア活用のポイント
 - 告知方法
 - Ustream活用のポイント
- ・ その他、何でも

3

本日、目指すもの

- ・ テレビで放映されない競技でも自分達で盛り上げられることを伝える
 - できることは色々あるはず
 - 手をつけていない状態の方が「やれることは全てやった」という気分になりやすい
 - むしろ、やり始めることで可能性が広がる
- ・ 上手く情報発信を行えば、ネットによる業界のエンパワーメントが可能

4

必要なものは

- ・ 内部の人の情熱
 - やる気が大事
 - 内部でのコンセンサス作りには情熱が必要
- ・ 外部の人の協力
 - 組織内だけでは難しい面もある
 - 業界内で各種技能がある人をピックアップする
- ・ ちょっとした技術
 - 高度に専門的である必要は、もはや無い
 - ITは十分に低価格化、一般化した

5

自己紹介

自己紹介

- ・ 1994年 慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス
- ・ 2003年 博士課程卒業までSFCで
 - 専門はインターネット上でのビデオ通信技術
- ・ 2003年 SONY入社
- ・ 2007年 SONY退職、本職ブロガーへ
 - 2008年より 慶應義塾大学 SFC研究所上席所員
 - 現在は、ブログ、本、雑誌記事を書いています

7

全剣連での活動

- ・ 情報小委員会
 - 外部専門家を集めた諮問機関
 - 委員会は提案を行うが決定権は無い
 - 各種業界から複数の委員が参加
 - 一番若いのが阿部晶人（オグルヴィ・ワン・ジャパン）と私
 - 私は情報小委員会に参加して13年目
 - 大学4年生の時から参加
 - 当時、インターネットが出始めた頃だった
 - 現在、専務理事の福本先生がSFC大学教授だった
 - 全剣連最年少委員を13年間続けてます

8

阿部晶人との活動

- ・ 二人で色々と提案してきた
 - 彼はプロモーション、私は技術
 - 互いに足りない部分を補えた
- ・ 彼は、大学3年の時に福本研究室へ参加
 - サーバ管理を出来る人を搜してた
 - 剣道サークル仲間の私が参加
 - kendo.or.jpの取得
 - SFC福本研究室内で剣道連盟のサーバ運用
 - 全剣連事務局内LAN整備手伝い
 - その後、色々



9

目指しているもの

- ・ 今回の勉強会はUstreamの話が発端ですが。。。
 - Ustreamは単なる一つの過程に過ぎません
 - Ustream単体だけにフォーカスしない方が良い
- ・ 「情報を増やすこと」がメイン
 - 公式Webサイトも大事だし
 - YouTubeも大事だし
 - その他、様々な情報発信が大事

10

個人的な視点

- ・ 既存の雑誌などと可能な範囲内で連携すること
 - 業界メディアとの適度な共存が重要
- ・ 「剣道」に関して情報発信する人が増えること
 - 個人が「ネタ」としやすい情報を増やすこと
 - 有志の手による剣道情報発信を促進すること
 - 結果として、剣道情報を多くの人々が得やすくなること
- ・ 剣道家が剣道連盟に親しみを感じてくれること
 - ただし、ネット界隈で流行の過度なフレンドリーさは剣道界には馴染まない

11

ネットユーザを増やすには

- ・ 「新しい情報は公式情報から」を繰り返す
 - 可能な情報をこまめに公開する
- ・ まず、最初に「ネットで情報を得る人」を増やす
- ・ 次に、「ネットで情報を発信する人」を増やす

12

武道やスポーツは情報発信が困難

- ・ 武道やスポーツは個人が情報発信しにくい分野
- ・ 「人」がメインだと「肖像権」から逃れられない
 - 個人が許可を得て撮影出来る範囲は限られる
 - 自分が稽古をしながら自分の写真を撮影するのは難しい
- ・ 結果、「私の今日の稽古」のようなブログばかり
 - 書く方も読む方も「内輪ネタ」になりがち
 - 多くの読者を抱える存在が登場しにくい

13

そこでYouTubeやFlickr

- ・ ネット上で活動する個人がブログなどで活用できる
 - 大会映像や写真を共有可能状態で公開
 - それを活用して「情報発信」をしてくれる人が出る
 - ロゴマークを入れておくことが大事（注意！）
 - ・ ロゴマークを入れないと知らない外国人に勝手に使われる
 - ・ 気がついたらSPAM用映像で使われたりしてる
 - ・ ロゴマークが付いていると多少は狙われにくくなる
- 正規に映像等を広く公開できるのは競技主催者だけ

14

良い循環が出来れば

- ・ 公開する→視聴者が発生する
- ・ 公開する→情報発信する人が増える
- ・ 発信者が増える→全体的な視聴者数が増える
- ・ 視聴者が増える→情報発信者が増える

15

全剣連での活動

剣道時代ブログパーツ(2008年)



17

剣道時代ブログパーツ

- ・ 阿部晶人と剣道時代のコラボによるブログパーツ
 - 製作はカヤックさん
- ・ 公開後に私のブログで紹介
 - はてな注目のエントリー入り
 - アルファブロガーの百式さんが記事で紹介してくれたので一気に広がる
- ・ 広告賞を受賞

18

YouTube公式チャンネル開設(2008)

- ・ 昭和28年11月8日の第一回全日本選手権大会映像を最初に掲載
 - ・ これはNHKによって放映されたもの
 - 50年が経過していたのでNHKに問い合わせた
- ・ プレスリリースを行った
 - アルファブロガーの方々に報告して記事を書いて頂けた
 - 剣道連盟がYouTubeを開始したこと、最初の映像のインパクトでいくつかのメディアにも掲載

19

YouTubeによるクムド問題改善

- ・ 剣道の起源は韓国だ、という主張に対して
 - Webによる声明は出していたがあまり効果はなかった
 - YouTubeで第1回全日本剣道選手権大会映像を掲載したことによる効果があったと思われる
 - ・ 日本だけではなく韓国でも話題になっていた
 - ・ <http://www.youtube.com/watch?v=IXVj244KNCI>

20

第五十六回 全日本選手権大会特設サイト(2008)



21

第五十六回 特設サイト

- ・ 全体的なプロデュース: 阿部晶人
- ・ 1-10デザインさん製作
- ・ 動き等がカッコ良かったのでネット各所で話題に
 - YouTube開始とも連動
 - 特設サイトと大会動画連動
- ・ 2009年にWebby賞2部門受賞
- ・ 2009年にグッドデザイン賞受賞

22

Twitter中継、ハイスピードカメラ 2009年

- ・ Twitter中継
 - 試合結果を即座にTweet
 - 会場風景など、チョイネタをtwitpicに掲載
- ・ ハイスピードカメラ映像をYouTubeに
 - 目では追いきれない動きを可視化
 - 剣道愛好家以外へのインパクトもあった

23

2010年 Ustream中継

- ・ 究極の速報性を目指して
 - Twitterだとタイムラグがある
 - もっと速く知らせたい
 - もっと詳細に知らせたい
- ・ そうなったら映像ストーリーミングしかないでしょ！

24

最近のパターン

- ・ 阿部の企画＋私の設計 というパターンが多い
 - － 阿部は大手企業用のインタラクティブ広告のプロ
 - ・ 阿部は元電通で現オグルヴィ・ワン・ジャパン
 - ・ Web製作やイベント企画や各種プロダクションの知人が多い
 - － 私の視点は実現可能性と費用と労力
- ・ 喫茶店などで色々と二人で案を練る
 - － 「こういうのができると楽しい」に対して「この方法があり得る」
 - ・ それに対して新しい案が出る
 - ・ 企画が完成していく

25

企画

- ・ 「何ができるか？」と「何をしたいか？」のハイブリッド
 - － ニーズばかりを見ても駄目だし、シーズ（種）ばかりを見ても駄目
 - ・ 「Ustreamがあるから使いたい」だけでは駄目
 - ・ 業界を盛り上げたいだけでも駄目
- ・ 「したいこと」を常に頭の片隅に入れておく
 - － 様々な情報がリンクしていく
 - － ネットサーフィンをしていて新しい発見がある

26

今後も色々やる予定です

- ・ やりたいことは色々あります
- ・ やれることからコツコツとやる予定です
- ・ 徐々に剣道愛好家がネットを見してくれることを願いつつ、、、

27

と、夢は広がりますが、、、

現実問題として、
超内向きな議論

技術じゃないんですよ！

組織内での提案が超大事

- ・何を目的としているのか
 - 重要
- ・いつどこで何をするのか
- ・それによってどのような効果が期待できるのか
- ・先行事例としてはどのようなものがあるのか
- ・それを行うには予算がどれだけかかるのか
- ・人的労力はどれだけ必要なのか
- ・それを行うリスクはどれだけあるのか

31

しかし、、、

- ・現実には厳しい
 - 基本的に理解されにくい
 - ・ソーシャルメディアの活用
 - ・草の根の情報伝播
 - ・ネットを活用した情報公開
 - そもそもメディアへのリリースも却下される
 - ・徐々に時間をかけて事例を積み上げるしかない
- ・最初は「理解されやすい切り口」が重要
 - 大会紹介Webコーナー
 - YouTubeによるVoD

32

先行事例をまとめることだ大事

- ・世の中の状況
 - Webの活用状況など
- ・説明相手の年齢に応じて例も考える
 - 競技団体だと判断する方々の年齢が高い例も多い筈、、、
 - YouTube活用事例
 - ・CBSやBBCやNBAを例に出してもピンと来なかった
 - ・たとえば「日本の各政党が宣伝に利用」と表現するとOK

33

失敗しない方法を考える

- ・各種イベント時には安全サイドに倒した設計を
 - 提案段階では過激なのが登場しても良い
 - 最終的に事務局と合意が出来ることが大事
 - ・合意が出来ないと進まない
 - ・たまにフラストレーション溜まって爆発しますが
 - リスクを可能な限り考える
 - ・「内部での反応」というリスクも考慮する必要あり

34

肖像権などに関して

- ・ネット上に画像、映像、音声を掲載することと大会規約の整合性をチェックする必要あり
- ・あとは、肖像権だけではなく、大会ビデオ販売等、各種ステークホルダーの存在を考える必要あり

35

広報活動

広報活動は大事

- ・ ソーシャルサービスは、ユーザが集まってこそ
 - ユーザが集まらなければ意味が無い
 - やる気も出ない
 - 組織内部での評価も悪くなってしまう
- ・ 競技団体がソーシャルサービスを利用するときには、広報活動とセットで考えるべき
 - 可能な範囲内で最大限の努力をすべき
 - ただし、無い袖は振れない
 - ・ お金をかけてまでやるべきかどうかは考えるべき

37

プレスリリース

- ・ 業界誌への告知は1ヶ月以上前に
 - 原稿〆切の関係で、イベント前に記事を出すには早めに
- ・ 各種メディアの問い合わせ先メールアドレス収集
 - 特にネットメディアは宛先が公開されている
- ・ 組織が運営するWebへの掲載も大事
 - ある程度前から繰り返し告知することが大事
- ・ 文章は「[NIKKEI NET 日経プレスリリース](#)」が参考になる

38

ソーシャルメディアがユーザに浸透してくれば。。。

- ・ 公式Webサイトで公表するとクチコミで広がる
 - 町道場など、リアルでのクチコミも多い
 - プレスリリースなどへの本気度が少なくて済むようになる
- ・ Twitterで定期的を書くと期待してくれるようになる
- ・ ブログなどで紹介してくれるようになる

39

そもそもソーシャルサービス開始のタイミングも広報の一環

- ・ 「○○を開始しました！」がニュースになる「旬」は、そんなに長くは無い
 - YouTubeの公式アカウント作成がニュースになる時期があった
 - Twitterの公式アカウント作成がニュースになる時期がかつて存在した
 - Ustream中継が話題になる時期が“今”
- ・ 次はなんだろうね（笑）

40

やっと、Ustreamの話

Ustreamのポイント

- ・ この3点を満たせば、もう完璧！
 - 高速なPC
 - HDVカメラ（おまけでマイク）
 - 回線

42

ハイスペックマシンが必要

- ・ Ustreamは、マシンスペックと回線速度を計算しながら、最適なビットレートを決定している
 - ということは、、、
 - マシンが遅いと画質や音質が落ちる
 - マシンが遅いとフレームレートが落ちる
 - 回線速度が遅いと画質や音質が落ちる
 - 回線速度が遅いとフレームレートが落ちる

43

私が使っているマシンスペック

- ・ Windows Vista
- ・ Intel Core 2 Duo P8400 2.26GHz
- ・ メモリ2GB
- ・ IEEE1394端子付き(別名FireWire、i.Link)
- ・ LANインターフェース付き(イーサネット)
- ・ 最安値を狙うなら
 - 中古で2年ほど前のPCを10万円弱で購入可能

44

HDVカメラ

- ・ 現時点では、HDVカメラからのIEEE1394出力が最も綺麗に撮影可能
- ・ その他カメラ
 - HDDカメラなどではRCA変換することで可能
 - デスクトップカメラは競技には向かない
 - 一部カメラはUSBカメラモードがある

45



46



47



48

Ustream Producer Pro

- ・中継をするのであれば購入すべき
 - 字幕を入れることが可能
 - 画像品質などを細かく設定可能
- HDVを使うにはHDVオプションライセンスを購入する必要あり

49

最も大事なものは回線！

- ・Ustream配信品質の8割は回線で決まる！
 - 武道やスポーツはフレームレートが大事
 - カクカク映像では楽しめない
- フレームレートによって楽しめる度合いが大きく変わるため、一般の勉強会中継などよりも難易度が高い

50

用意すべき回線

- ・会場までの光ファイバが必要
 - ADSLだと再高品質Ustream配信は恐らく難しい
 - FOMAやe-mobileでは無理
- ・既存回線が無ければ調査と準備が必要
 - 会場までのファイバ取得は、NTTフレッツや、ISPなどの窓口と相談する必要がある
 - ・工事を考えて2ヶ月は欲しい
 - 既に建物に光ファイバが来ているかどうかポイント
 - ・光ファイバが物理的に来ていることと、契約が行われている回線があることは別問題

51

回線は必ず現場チェック

- ・現場の人を信じてはいけない。。。。
 - 愛知で最初は、、、
 - ・「無線ありますよ！当日使えますよ！」
 - 現場に行ってみると、、、、
 - ・「インターネット回線なんてありません！」
- あれ？？？？？
 - ・恐らく業務用に利用しているインカムの話です
 - ・無線LANとインカムの違いを現地の人が勘違いしてた

52

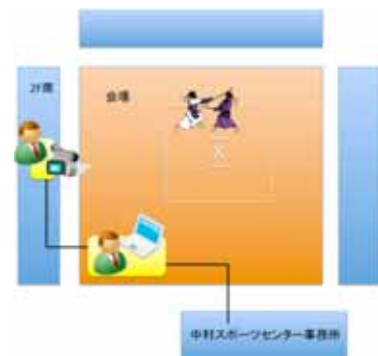
会場での回線

- ・無線LANは可能な限り避けるべき
 - 速度が遅いし、転送できる回線帯域も不安定
 - 外部からのiPhoneユーザなどに妨害される可能性
- ・出来るだけ会場内はメタル回線を使うのを推奨
 - 設営業者が敷設してくれなければ自分で
 - Category 5eで十分
 - Category 6でなくても大丈夫
 - 購入は秋葉原の愛三電機がお勧め



53

愛知の剣道八段戦会場



54



屋外の場合

- ・イーサネットケーブルは100mが限界
 - ケーブルが引けないような場所であれば無線を使うしかない
 - しかし、一般の無線LANは数十メートルしか飛ばない
 - 専用のアクセスポイントやアンテナを利用して無線LANを長距離飛ばすことも可能
 - Aperaの屋外用指向性アンテナなどを利用

カメラワーク等は割愛

- ・恐らく、ここにいらっしゃる方々の方が詳しいと思います
- ・競技毎に求められるカメラのニーズや配置が違っていると思います

UstreamとYouTubeを 両方やるのも大事

- ・リアルタイムに結果を知りたい人はUstream
- ・後でブログなどを書く人はYouTube
 - YouTubeのブログ埋め込み機能を使う人が多い
 - Ustreamでも出来るけど、YouTubeの方がベター
 - Ustreamで試合毎に編集した映像をアップするのは面倒
- ・YouTubeの方が外国人も見えてくれる
 - むしろ日本国内よりも外国からの視聴者が多い

61

Twitter関連

事前準備が重要

- ・公式アカウント作成と告知は、お早めに
 - フォロワー数が居た方がやりがいがあります
- ・大会などの速報をやるのであれば、文章テンプレートを作っておく必要あり
 - 選手の略歴
 - 試合結果のテンプレート
 - 途中での息抜きのチョイネタ

63

Twitterは本番に強い

- ・Twitterを活用すると競技とは関係が無い人も見えてくれる
 - 剣道の大会を剣道に興味が無い人が見えてくれる
- ・剣道愛好家が一体感を感じる
 - ハッシュタグなどで繋がる
 - コンサート会場や競技場に居る感覚に近い
 - まあ、でも、Twitterに関しては使って慣れて頂くのが一番なので割愛

64

ただし注意！

- ・アカウント作成時に鍵付きだと検索結果に出ないかも
- ・常に更新しなければならないわけではない
 - 可能な範囲で
- ・雰囲気には騙されては駄目！
 - 外部向き広報の気持ちで
 - 「個人」としてでも、所属を明かしている状態では「組織の人」という風に見られる

65

やりがい

フィードバックは大事

- ・ 様々な活動のフィードバックが、全剣連や、事務局へと行くことが大事
 - 「中の人」へのフィードバックがやる気への根源
- 今まで、「反応」が伝わるのが少なかった
 - ・ 最近はポジティブなもの、ネガティブなものもダイレクトに繋がる
 - ・ ポジティブなものを多く受け取れるように頑張るべき
 - ・ ネガティブなフィードバックは「情報不足」によって発生することが多い

67

まとめ

- ・ 情報発信は、実は、そんなに難しいことではない
 - ちょっとしたことから始められる
 - ちょっとしたことが喜ばれる
 - ちょっとしたことを重ねると大きくなって行く
- ・ 技術は重要ではない
 - 技術は陳腐化している
 - 最近は、色々と簡単
 - 昔ほど専門知識が要求されない
- ・ 要は情熱次第

68

本日は学生の方々も いらしているので、..

- ・ 個人的な意見
 - 民間企業に就職することをお勧めします
 - そこで得た知識、経験、人脈を業界に活かす
 - ・ ただし、競技業界との「繋がり」を大切に維持するのも大事だろうと思います
 - 内部だと言えない意見というものがある
 - ・ ただし、内部の人の気持ちを調査する必要もある
 - ・ 「外部の人」という自由さは何か新しいことをするときには重要と思うことがあります

69

これでスライドは終わりです

- ・ その他、何でも質問して下さい
 - 雑談でもいいです
- ・ 競技の中継したいという要望があれば、1回、2回ぐらいなら手伝いに行けます
 - 様々な経験を出来ることが私にとっては大事
 - ・ 様々な現場に行かないと見えないものがある
 - 地方に行くとかであれば、交通費さえ出して頂ければ
 - 都内とかであれば、普通に遊びに行けます(笑)

70

notice

- ・ 本日の勉強会会場を無償提供して頂いた
 - シスコシステムズ合同会社 様に感謝します

71